

津波から身を守るために

気づき、考え
実行しよう

【Ⅱ 津波からの避難】

質問

次の①～③のうち、正しいものの番号に○をつけよう。

- ① 津波警報が発表されたが、揺れが弱かったので逃げなくてもよい。
- ② 津波が来る前には、津波警報が必ず発表される。
- ③ 津波が来るときは、できるだけ高い場所（3階以上のビル・高台）へ逃げるとよい。

* 正解は、次の文章の中に書かれています。

津波警報が発表されたらただちに高い場所に急いで避難

- ・ 大津波警報、津波警報が発表されたら、すぐに高いところへ逃げてください。
- ・ 海に近い場所で地震が発生したときは、津波警報が間に合わないこともあります。
- ・ 強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときはすぐに逃げましょう。



ポイント！

津波がくるときは、できるだけ高い場所へ急いで逃げる。海のそばで地震の強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときにはすぐに逃げる必要がある。

豆知識

津波から逃げるときは

津波から逃げるには、山や高台、ビルなど高い方へ逃げるのが大切です。ここで大丈夫と思わず、できるだけ高い場所へ逃げましょう。

また、逃げる時は周辺の人同士、『津波がくるぞ』と声をかけあいながら避難しましょう。



考えてみよう！

初めて遊びにいった海水浴場で強い揺れを感じたり、弱くても長い時間揺れたりした時、どこを目指して逃げるとよいでしょうか。

答え

津波から身を守るために

【Ⅱ 津波からの避難】

津波から身を守るにはどこへ逃げるべきかを学習します。

避難する時や避難した後について

- ・津波から身を守るためには、急いで高い場所へ逃げるのが重要です。
- ・車を利用すると、渋滞などにより避難できない場合があります。原則、徒歩で避難しましょう。
- ・津波は繰り返しおそってきます。避難後は、最新の情報を確認し、津波警報や自治体の避難指示などが出ている間は避難を続けましょう。



つなみひなん
津波避難



つなみひなんばしょ
津波避難場所



つなみひなん
津波避難ビル

津波のおそれがある所には、津波避難場所などが分かる標識があります。海の近くへ行った時はあらかじめ確認することが大切です。

種類	津波注意報	津波警報	大津波警報		
定性表現	表記しない	高い	巨大		
数値	1 m (0.2m ≦ 予想高さ ≦ 1m)	3 m (1m < 予想高さ ≦ 3m)	5 m (3m < 予想高さ ≦ 5m)	10 m (5m < 予想高さ ≦ 10m)	10 m 超 (10m < 予想高さ)

津波警報等の種類



赤白の格子模様の
「津波フラッグ」

聴覚に障がいをおもちの方々などにも津波警報等の発表をお知らせできるようになりました。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。

もう少し、
しっかり学
ばせたい！

青少年赤十字防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」

P.50【津波災害】（授業時間50分）

DVDとワークシートで、津波が起こるメカニズムや津波から身を守る方法が学べます。

・質問の答え：③

・考えてみようの答えについて

津波から逃げる際、知らない街では具体的にどこに逃げれば良いか判断に迷うこともあるでしょう。上記に示しているように海に近いところでは、津波から逃げるための標識が設置してあります。海や海の近くに遊びに行くときには、あらかじめ確認しておいてください。